

<アイデア>

中学校 第3学年及び高等学校 入学年次 「B 器械運動」

中学校 第3学年及び高等学校 入学年次 「B 器械運動」において、習得した**基本的な技に関する知識や技能を活用・発揮して、発展技である「伸膝前転」のポイントに生徒自らが気づき、自らの力で習得するための教師のアイデア**

<ねらい>

活用・発揮できる知識及び技能を「教える」のではなく、「気付かせる」ための手立てを考える。

演習：授業構想の工夫～主体的・対話的で深い学びとは～

想定

Aくんはマット運動における**基本的な技**（前転，後転，開脚前転，開脚後転，倒立前転）は**習得**しています。このAくんが**発展技**である

「**伸膝前転**」に

挑戦しています。

しかし，なかなかうまくできないようです。

このような生徒は，
皆さんの学校にも
たくさんいるのでは
ないでしょうか。



演習：授業構想の工夫～主体的・対話的で深い学びとは～

Aくんの様子を見れば、「どこをどのようにすればできそうなのか」が、**我々教員は分かりますが…**。

せっかく「**基本的な技**」を習得しているのですから、**我々がポイントを教えるのではなく**、「どこをどのようにすればできそうなのか」に、**Aくん自身が気付いたり練習法を工夫したりできるようになるために、我々がどのような工夫ができるのか**、考えてみましょう。



演習：授業構想の工夫

～伸膝前転～

Aくん

惰性で回転しています

1



お手本

足を振り下ろして加速しています

1



Aくん

腰の角度が狭いです

2



お手本

腰の角度が広いです

2



演習：授業構想の工夫 ～伸膝前転～

Aくん

腰の角度 ② \div ③



お手本

腰の角度 ② $>$ ③



Aくん

前屈が弱く、突き放しが弱いです



お手本

前屈が強く、突き放しも強いです



演習：授業構想の工夫 ～伸膝前転～

Aくん

完全に止まってしまいました

5



お手本

腕を振り上げ、立ち上がる力を生み出しています

5



Aくん

尻もちをついてしまいました

6



お手本

加速+前屈+腕の振り上げ

6



演習：授業構想の工夫

- ・ 今もっている資質・能力を（生徒が自ら）活用・
発揮できるようにするためのアイデアを考える。

「（資質・能力を）教える」のではなく

「（資質・能力の獲得の仕方に）気付かせる」

- ・ 具体的な（教師の）工夫や支援を「Akitaractive Eye 授業づくりカード」に記入する。

ex 過去の経験や「Akitaractive Eye 体育・
保健体育編」を参考にして…

初任者研修講座（中学校）において、この
ような演習を行ってみました。
その中で出たアイデアを紹介します。



意識してほしいポイント，キーワードを入れた「本時のめあて」を提示する。

Akitaractive Eye

授業づく

ねらいに迫る授業をするた

◇学習活動を吟味する

手をつく位置や 起き上がりの

タイミングをかえて回転のスピードが、

どう変わるか、確かめてみよう

「基本的な技」を習得する際に示したキーワード等を用いることで、技のポイントや当時の記憶が思い起こされるのではないか、ということですね。

課題解決に役立つ補助教具（マット、ロイター板等）を、練習場所の側に（さりげなく）置いておく。

「基本的な技」の習得で活用した補助教具，
「発展技」の習得に役立つ（であろう）補助
教具を練習場所の側に置いておくことによっ
て，その活用方法や活用場面を生徒自らが考
えるのではないか，ということですね。

場の設定や、ポイント等を用意して、自らが
選択したい工夫で立ち回れるようにする。
※教具（ロイター板等）。

受講者の振り返りから抜粋

- ・ 一方的に教えるのではなく、「気付く」そして活用・発揮させる場面があることが、とても大切であると思った。
- ・ 私は発問の工夫が苦手なので、その場の状況や生徒の実態に応じた（思考を促す）つぶやきを今後身に付けていきたい。
- ・ 教師からの声掛けでポイントを説明することが多いので、今日の演習ではいろいろな視点で考えることができた。どのようにしたら自分の力で課題を乗り越えていけるのか、乗り越えさせられるのかを、普段の授業の中で考え、取り入れていく重要さを再度学ぶことができた。
- ・ 「生徒自身にどう気付かせるか？」という視点で手立てを考えてみると、それが主体的・対話的で深い学びにつながっているのだなという実感をもつことができました。

生徒からこのような言葉が自然に出てくるような，教師側の「仕掛け」ができればベストですね。

深く学ぶことができた状態・姿

- (既存の) 知識同士がつながった。
既存の知識と新しい知識がつながった。
もっている知識を使って、問題が
解決できた。
・もっている知識が、実生活において
役に立った……など。

あ、そうか！ なるほど！
だったら… やっぱり!!

